

平成 11 年(1999年)7月28日 水曜日



朝刊

発行所 熊本日日新聞社

〒860-8506 熊本市西安町172

☎ 代表(096)361-3111

© 熊本日日新聞社 1999

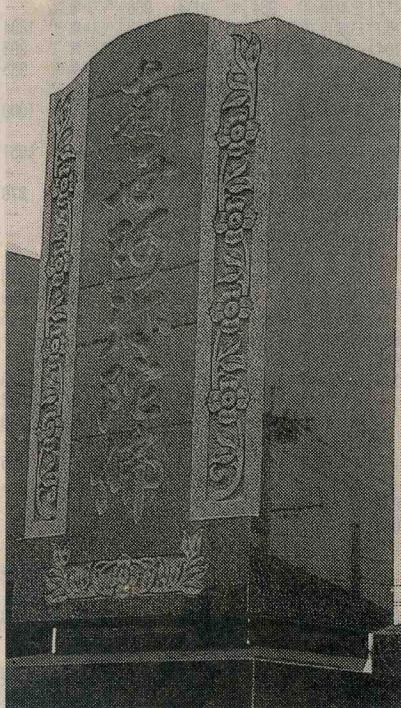
熊本市と玉名市の墓石専門店が米国の大手メーカーと提携、彫刻を施した墓石の販売を始めた。顧客の要望に応じて、花や鳥、家紋、人物像などさまざまな模様の立体表現が可能で、墓石の個性化が県内で進みそうだ。

米国企業と提携したのは石彫田尻(熊本市、田尻晋哉社長)と玉名石材センター(玉名市、荒木勝也社長)。他社との差別化を模索していた田尻社長は昨年、提携先のロック・オブ・エイジズ(米ニューハンプシャー州)が主催する視察旅行に参加。同社の技術や個性豊かな米国の墓を見て日本でも需要が見込める」と提携を決めた。

顧客から注文を受けてデザイントを決め、墓石をロック・オブ・エイジズの国内工場(東大阪市)に送って加工してもらう。価格は通常の約一

## 墓石も個性の時代!?

花や鳥、人物像…彫刻いかが



花の模様を彫り込んだ墓石

熊本・玉名  
専門業者

米大手メーカーと提携販売

・五倍。五平方㍍の墓の場合、今後受注活動を本格化させ三百四百五十万円程度になる。

る。石彫田尻は年間売上高約八千万円。提携を機に、では、墓石に彫刻や言葉などを将来的には売り上げ一億円を目指している。

また、玉名石材センターも、五倍。五平方㍍の墓の場合、今後受注活動を本格化させ三百四百五十万円程度になる。

「個人の墓」が主流の米国では、墓石に彫刻や言葉などを刻むことが多い。田尻社長は「先祖や自分を表現する個性的なデザインの墓は、今後日本でも広まっていく」と話している。